



平成31年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3446 URL http://www.j-tec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津村 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 靖人 TEL 072 (646) 6904
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第1四半期の業績（平成30年7月1日～平成30年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年6月期第1四半期 | 141 | △61.7 | △46 | — | △3 | — | △3 | — |
| 30年6月期第1四半期 | 367 | — | 173 | — | 174 | — | 108 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年6月期第1四半期 | △0.58 | — |
| 30年6月期第1四半期 | 21.18 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年6月期第1四半期 | 2,415 | 2,106 | 87.2 |
| 30年6月期 | 2,520 | 2,105 | 83.5 |

(参考) 自己資本 31年6月期第1四半期 2,106百万円 30年6月期 2,105百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 31年6月期 | — | — | — | — | — |
| 31年6月期（予想） | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年6月期の業績予想（平成30年7月1日～平成31年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 319 | △25.8 | △59 | — | △42 | — | △34 | — | △6.00 |
| 通期 | 1,408 | 39.5 | 404 | 65.9 | 441 | 58.0 | 294 | 68.5 | 50.93 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年6月期1Q | 5,799,000株 | 30年6月期 | 5,775,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年6月期1Q | 20株 | 30年6月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年6月期1Q | 5,776,963株 | 30年6月期1Q | 5,120,000株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (追加情報) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業収益は引き続き堅調な推移となっているものの、西日本での豪雨や台風及び大阪と北海道での地震等、災害が続いたことにより物流や生産が滞ったこと、及び米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦が中国以外のアジア諸国へも影響が出始める等、先行きの不透明感が懸念されております。

このような経済環境のなかで当社は、オプティカル事業及びライフサイエンス・機器開発事業という独自の技術を利用した二つの事業により、営業基盤の強化と拡充に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高141,093千円（前年同期比61.7%減）、営業損失46,033千円（前年同期は173,188千円の利益）、経常損失3,312千円（前年同期は174,380千円の利益）、四半期純損失3,345千円（前年同期は108,430千円の利益）となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

(オプティカル事業)

前事業年度から当事業年度に期ずれとなっていましたアメリカ（施設：LCLS）向けとドイツ（施設：BESSY）向けの売上が7月度に計上しました。その他、台湾（施設：TPS）向け等の売上が業績を牽引しました。

また、オプティカル事業は全て受注生産であり、前事業年度と同様に当事業年度においても下期に売上が偏重する見込みであります。当第1四半期においては、売上は当初から大きく見込んでおらず、主に納品に向けての製造活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は136,456千円（前年同期比56.7%減）、セグメント利益は49,211千円（前年同期比77.1%減）となりました。

(ライフサイエンス・機器開発事業)

当第1四半期の売上は当初から大きく見込んでおらず、大型自動培養装置の保守メンテナンス料及び消耗品等による売上がありました。当事業年度においては、CELLFLOAT®システムを用いた汎用型機器（CellPet 3D-iPS、CellPet FT）から機器開発事業における受託生産品に、販売構成のシフトを図っております。

また、機器開発事業は主に受注生産であり、当第1四半期においては納品に向けての製造活動を行ってまいりました。同時に、機器開発事業における新規事業分野の開拓にも注力してまいりました。

この結果、売上高は4,637千円（前年同期比91.3%減）、セグメント損失は33,353千円（前年同期は2,555千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,779,788千円となり、前事業年度末に比べ141,318千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が67,832千円及び仕掛品が16,720千円増加した一方で、売掛金（主にオプティカル事業関連）が223,224千円減少したことによるものであります。固定資産は635,617千円となり、前事業年度末に比べ36,306千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定に計上しているオプティカル事業関連の製造装置の増加に伴い、有形固定資産（その他）が35,030千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,415,405千円となり、前事業年度末に比べ105,011千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は197,979千円となり、前事業年度末に比べ94,305千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が77,647千円及び前受金（主にオプティカル事業関連）が14,640千円減少したことによるものであります。固定負債は111,273千円となり、前事業年度末に比べ11,544千円減少いたしました。これは主に長期借入金が10,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は309,252千円となり、前事業年度に比べ105,849千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,106,152千円となり、前事業年度末に比べ838千円増加いたしました。これは主に四半期純損失を3,345千円計上した一方で、新株予約権（ストックオプション）の行使により、資本金が2,138千円及び資本準備金が2,138千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成30年8月10日の「平成30年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成30年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,560,125 | 1,627,958 |
| 電子記録債権 | 7,583 | 1,844 |
| 売掛金 | 251,667 | 28,443 |
| 商品及び製品 | 35,355 | 26,823 |
| 仕掛品 | 12,043 | 28,764 |
| 原材料及び貯蔵品 | 14,391 | 14,160 |
| その他 | 39,940 | 51,793 |
| 流動資産合計 | 1,921,106 | 1,779,788 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 196,478 | 193,940 |
| 機械及び装置（純額） | 81,116 | 84,223 |
| 土地 | 250,570 | 250,570 |
| その他（純額） | 52,586 | 87,616 |
| 有形固定資産合計 | 580,751 | 616,351 |
| 無形固定資産 | 4,122 | 3,937 |
| 投資その他の資産 | 14,435 | 15,328 |
| 固定資産合計 | 599,310 | 635,617 |
| 資産合計 | 2,520,416 | 2,415,405 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 17,316 | 6,236 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 30,360 | 36,780 |
| 未払法人税等 | 82,324 | 4,677 |
| 前受金 | 84,110 | 69,470 |
| 賞与引当金 | 8,661 | 19,193 |
| その他 | 69,511 | 61,622 |
| 流動負債合計 | 292,284 | 197,979 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 106,500 | 96,000 |
| 資産除去債務 | 12,077 | 12,125 |
| その他 | 4,240 | 3,148 |
| 固定負債合計 | 122,817 | 111,273 |
| 負債合計 | 415,102 | 309,252 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 812,247 | 814,386 |
| 資本剰余金 | 772,247 | 774,386 |
| 利益剰余金 | 520,819 | 517,473 |
| 自己株式 | — | △92 |
| 株主資本合計 | 2,105,314 | 2,106,152 |
| 純資産合計 | 2,105,314 | 2,106,152 |
| 負債純資産合計 | 2,520,416 | 2,415,405 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 367,998 | 141,093 |
| 売上原価 | 91,239 | 41,047 |
| 売上総利益 | 276,759 | 100,045 |
| 販売費及び一般管理費 | 103,571 | 146,079 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 173,188 | △46,033 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 24 |
| 補助金収入 | — | 36,865 |
| 受取技術料 | 777 | 777 |
| 商標権譲渡益 | 400 | — |
| その他 | 288 | 5,190 |
| 営業外収益合計 | 1,478 | 42,858 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 190 | 125 |
| 固定資産除売却損 | 95 | — |
| その他 | — | 12 |
| 営業外費用合計 | 286 | 137 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 174,380 | △3,312 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 485 | — |
| 特別損失合計 | 485 | — |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | 173,894 | △3,312 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 50,190 | 1,132 |
| 法人税等調整額 | 15,273 | △1,099 |
| 法人税等合計 | 65,464 | 32 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 108,430 | △3,345 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------|--------------|-------------------------|---------|--------------|------------------------------|
| | オプティカル 事業 | ライフ サイエンス・ 機器開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 314,882 | 53,116 | 367,998 | — | 367,998 |
| 計 | 314,882 | 53,116 | 367,998 | — | 367,998 |
| セグメント利益又は損失(△) | 214,552 | 2,555 | 217,108 | △43,920 | 173,188 |

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期累計期間において、収益性の低下に伴う減損損失を「ライフサイエンス・機器開発事業」セグメントにおいて485千円計上しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------|--------------|-------------------------|---------|--------------|------------------------------|
| | オプティカル 事業 | ライフ サイエンス・ 機器開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 136,456 | 4,637 | 141,093 | — | 141,093 |
| 計 | 136,456 | 4,637 | 141,093 | — | 141,093 |
| セグメント利益又は損失(△) | 49,211 | △33,353 | 15,857 | △61,891 | △46,033 |

- (注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、当社の事業展開、経営資源の配分、及び経営管理体制の実態等の観点から管理区分の見直しを行った結果、従来細胞培養センターに関する費用を平成28年4月の設立時より「ライフサイエンス・機器開発事業」として管理しておりましたが、事業規模が拡大し経営管理における重要性が増してきていること、及び既存セグメントのいずれにも属さない将来に関する研究開発活動が多くなっていることから、当該費用を全社費用として調整額に含めることに変更いたしました。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。